

2018年3月期 決算説明会資料



新田ゼラチン株式会社

1

目次



1. 2018年3月期実績
2. 2019年3月期業績予想
3. 中期経営計画
4. トピックス

＜ご案内＞

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

会社名	新田ゼラチン株式会社（Nitta Gelatin Inc.）
代表者	代表取締役社長 尾形 浩一（おがた こういち）
本店	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年（大正7年）1月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4977）
資本金	3,144百万円
連結売上高	377億円（2018年3月期）
連結従業員数	1,253名（2018年3月末現在）

2018年3月期 決算説明会資料（2018.5.23）

3

1. 2018年3月期実績

2018年3月期 決算説明会資料（2018.5.23）

4

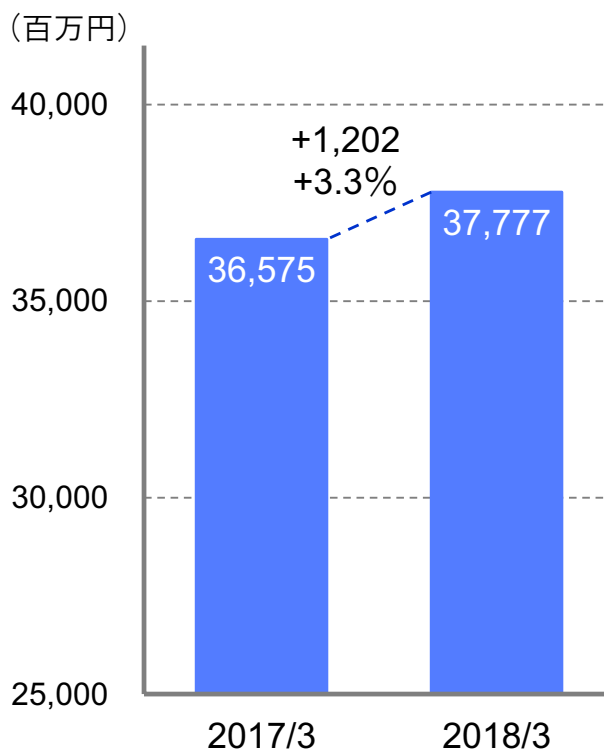
業績推移 ①: 売上高

売上高: 37,777百万円

前年比: +1,202百万円
+3.3%

予想比: +377百万円
+1.0%

- 国内は、ゼラチン・ペプチドの販売堅調
- 中国のペプチド販売好調
- インドのゼラチン販売堅調
- 北米カプセル用販売の減少

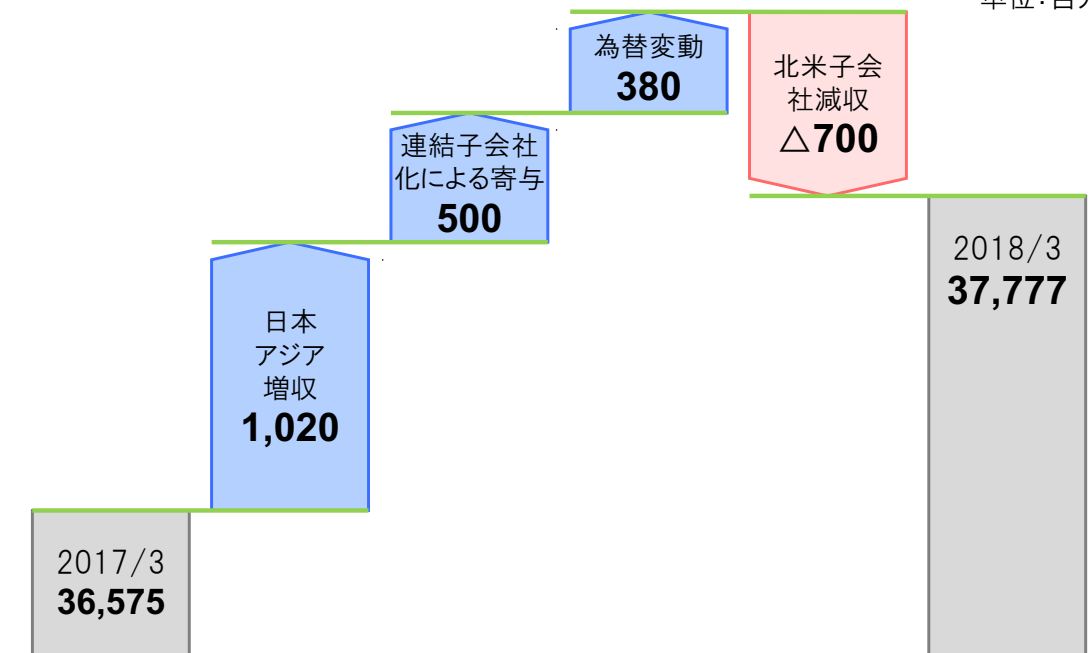


2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

5

連結売上高増減要因 (前年比)

単位: 百万円



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

6

業績推移 ②：営業利益

営業利益： 1,095百万円

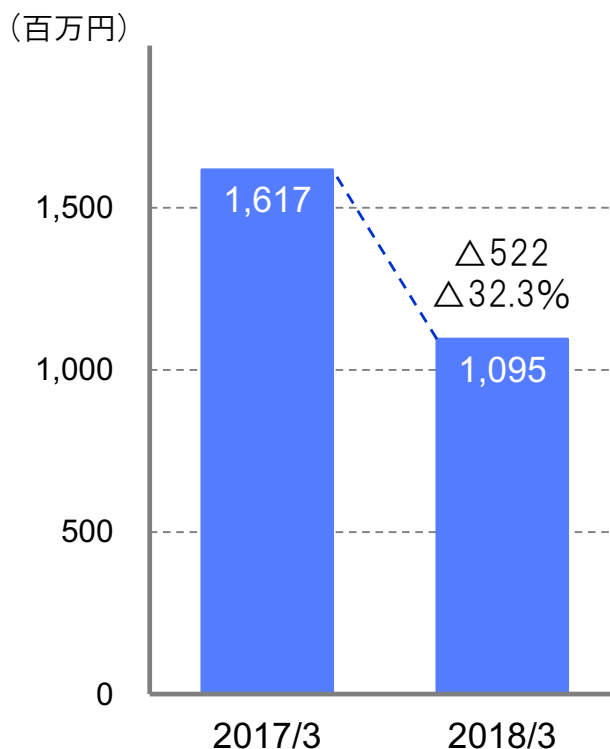
前年比： △522百万円

△32.3%

予想比： △4百万円

△0.4 %

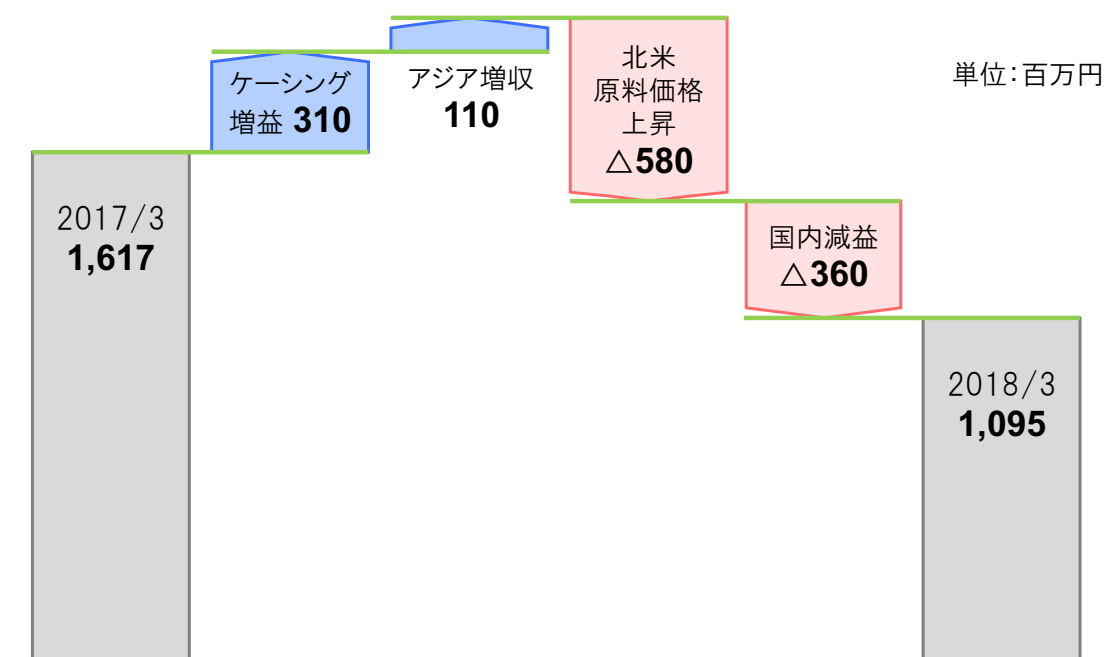
- 国内は増収減益
- 北米ケーシング事業は増益
- 北米ゼラチン事業は減益



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

7

連結営業利益増減要因 (前年比)



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

8

業績推移 ③： 経常利益

経常利益： 1,009百万円

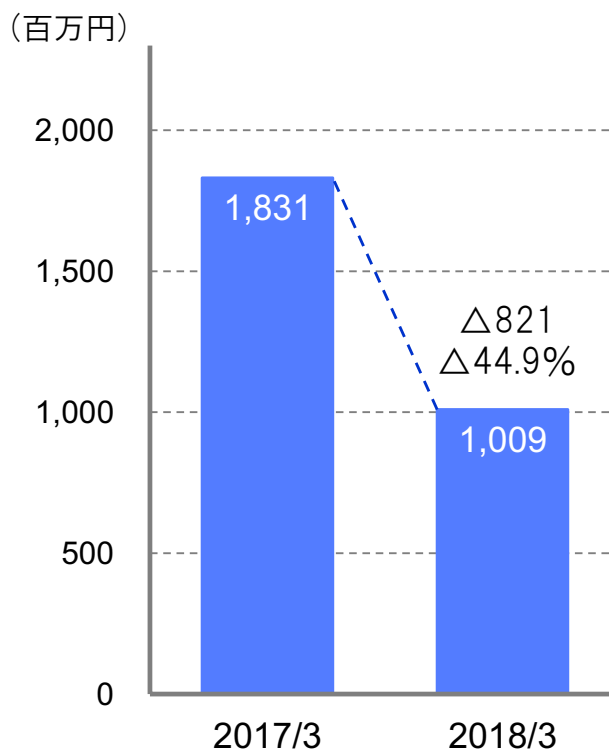
前年比： $\Delta 821$ 百万円

$\Delta 44.9\%$

予想比： +9百万円

+0.9%

- 営業利益の減少
- 為替差損(前期は為替差益)



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

9

業績推移 ④： 親会社株主に帰属する当期純利益

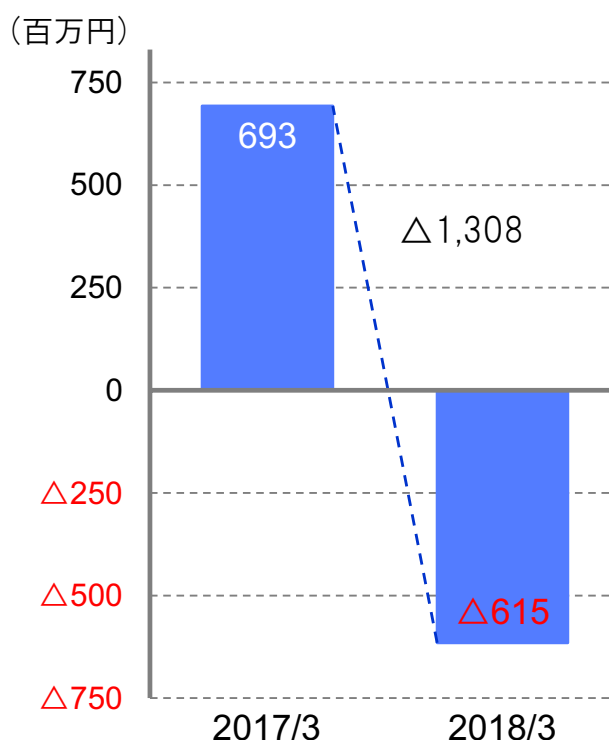
親会社株主に帰属する

当期純利益： $\Delta 615$ 百万円

前年比： $\Delta 1,308$ 百万円

予想比： $\Delta 1,215$ 百万円

- ニッタゼラチンユーエスエーInc.
の固定資産の減損損失等



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

10

子会社設備の減損損失

■ 設備導入時の経営環境

- 日本：豚皮由来コラーゲンペプチドの需要拡大（大口顧客）
- 為替は円高（79.8円／ドル、2012年）
- 現地加工によるコストダウンと低関税率適用（17⇒5％）
- 2013年に設備導入完了し、2015年に本格生産の開始予定

■ その後の経緯

- 日本：コラーゲンペプチドの需要は当初計画ほど拡大せず
- 円安（121.0円／ドル、2015年）
- ゼラチン液からの直接加工という新技術で、立上げ遅れ
- 投資額が計画を超過し、費用負担が増加

2018年3月期 決算説明会資料（2018.5.23）

11

■ 減損損失計上

- 現状のままでは、コラーゲンペプチド生産設備の資産価値を、償却期間内に回収できない見通しになった。
- 減損損失により、簿価を減じて、減価償却負担を軽減した。

■ 現状と今後の展開

- 日本向け：計画通りに生産中
- 北米向け：伸長市場向け販売拡大
：コスト競争力のある製品の生産

2018年3月期 決算説明会資料（2018.5.23）

12

コラーゲン素材事業

ゼラチン

菓子



コンビニ総菜



冷凍食品



カプセル



ペプチド

健康食品

Wellnex®



ケーシング

ソーセージの皮



ライフサイエンス

医療用素材

beMatrix®



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

13

コラーゲン素材事業

- **ゼラチン**
 - 日本** 食用の需要は堅調
売上利益は減少
 - 北米** カプセル市場の販売減少
- **ペプチド**
 - 日本** サプリメント向け売上増加
一般消費者用の売上増加
 - 中国** サプリメント向け販売好調
- **ケーシング** **米国** 販売戦略見直しと生産性改善により増益

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

14

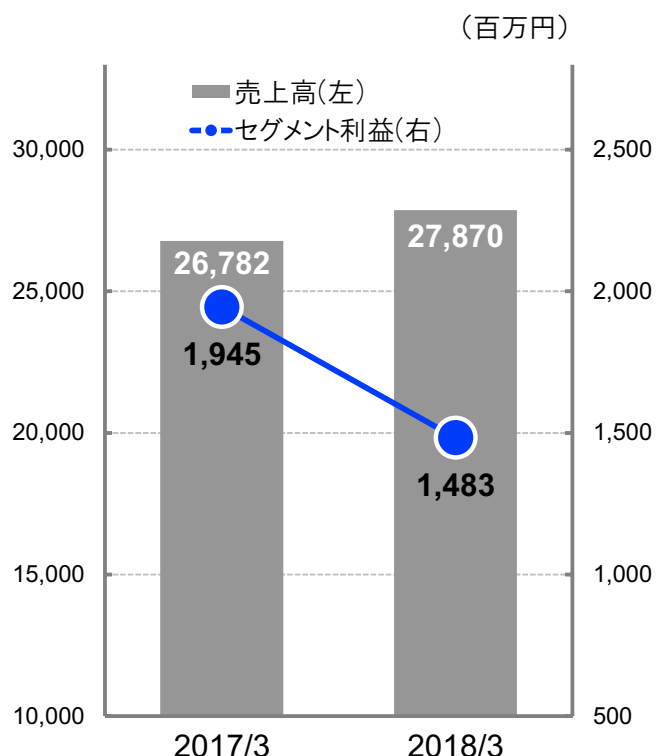
コラーゲン素材事業

売上高: 27,870百万円

前年比: +1,087百万円
+4.1%

セグメント利益: 1,483百万円

前年比: △461百万円
△23.7%



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

15

フォーミュラソリューション事業

食品材料

ゲル化剤・安定剤



接着剤

Nittait®

ホットメルト接着剤
(包装、製本、衛材、建材)



高機能樹脂

G-zain®



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

16

フォーミュラソリューション事業

- 食品材料 畜肉加工用が堅調

チルドデザート用は減少

- 接着剤 衛生材料用は引き続き好調

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

17

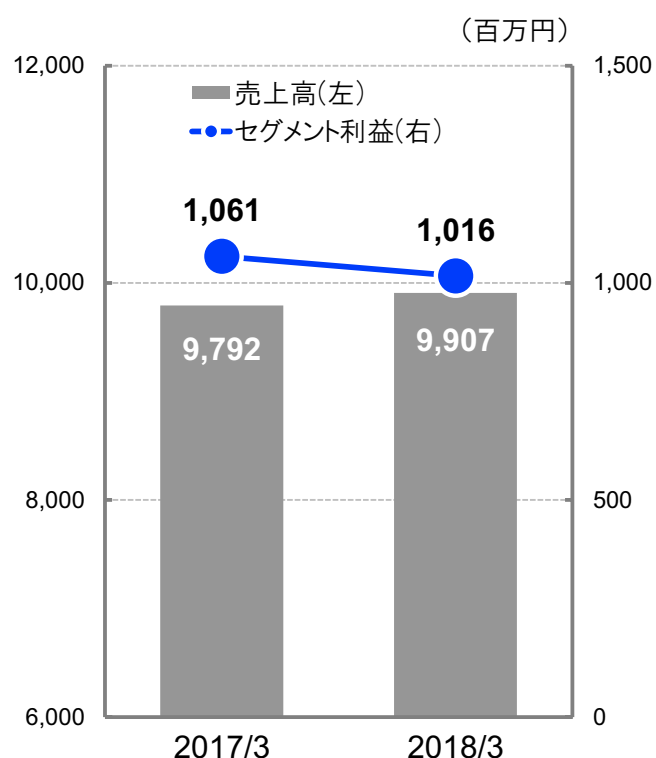
フォーミュラソリューション事業

売上高: 9,907百万円

前年比: +114百万円
+1.2%

セグメント利益: 1,016百万円

前年比: △45百万円
△4.3%



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

18

貸借対照表 (B/S)

- 現金・預金減少
- 固定資産の減損損失
- 負債減少

(百万円)	2017/3	2018/3	増減
流動資産	21,686	20,461	△1,224
現金・預金	2,662	1,626	△1,035
受取手形・売掛金	8,923	8,966	+43
たな卸資産	9,204	9,337	+132
その他流動資産	896	531	△364
固定資産	18,724	17,564	△1,160
有形固定資産	13,910	12,251	△1,658
無形固定資産	859	780	△79
投資等	3,954	4,532	+577
資産合計	40,410	38,025	△2,385

(百万円)	2017/3	2018/3	増減
流動負債	13,037	12,056	△981
支払手形・買掛金	4,347	4,159	△188
短期借入金・社債等	5,298	5,002	△296
その他流動負債	3,391	2,895	△496
固定負債	9,636	8,771	△865
長期借入金	5,425	4,684	△741
退職給付に係る負債	2,851	2,709	△142
その他固定負債	1,359	1,377	+18
負債合計	22,674	20,828	△1,846
株主資本	16,153	15,317	△836
その他包括利益累計額合計	△426	△127	+298
非支配株主持分	2,009	2,008	△0
純資産合計	17,736	17,197	△538
負債純資産合計	40,410	38,025	△2,385

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

19

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

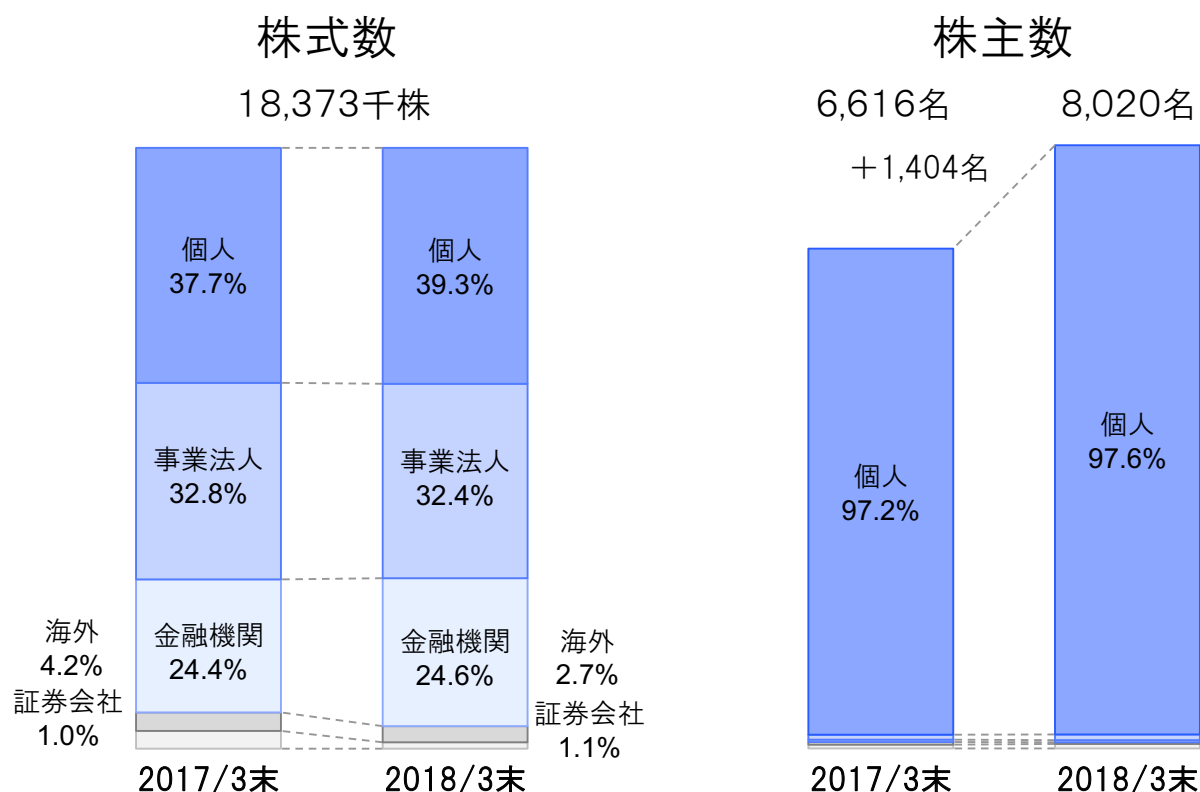
- 営業CF: 減価償却費、法人税等の支払
- 投資CF: 有形固定資産取得による支出
- 財務CF: 長期借入金、リース債務の返済

(百万円)	2017/3	2018/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,910	1,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,473	△1,377
財務活動によるキャッシュ・フロー	601	△1,160
現金及び現金同等品の増加額	13	△1,012
現金及び現金同等品の期末残高	2,550	1,538

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

20

株式分布変化



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

21

＜新株主優待制度＞

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単位(100株)以上を保有する株主様を対象

所有株式数	保有期間	贈呈内容
100株以上 500株未満	3年未満	当社商品(健康食品など) 1,000円相当をリストから1品選択
	3年以上	当社商品(健康食品など) 1,000円相当をリストから2品選択
500株以上	3年未満	当社商品(健康食品など) 3,000円相当をリストから1品選択
	3年以上	当社商品(健康食品など) 3,000円相当をリストから2品選択

3年以上保有とは: 当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上連続して記載または記録され、1単位(100株)以上保有



株主優待商品例(3,000円セット)

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

22

2. 2019年3月期業績見通し

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

23

2 2019年3月期業績見通し

接着剤事業の会社分割に関して

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

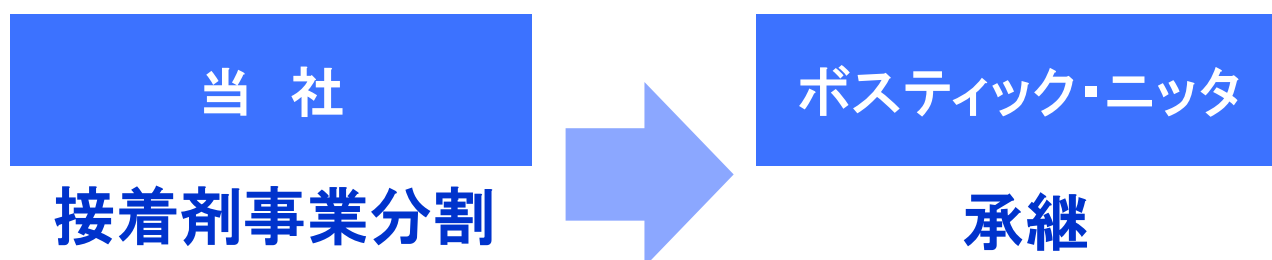
24

ボスティック・ニッタ株式会社

- 設 立： 1982年4月(Nitta Findley Co., Ltd.)
- 社 員： 18名(内、当社出向者4名)
- 売上高： 5,171百万円(2017年12月期)
- 出資比率： Bostik 66%、当社 34%
- 販売分野： 衛材用、工業用ホットメルト接着剤
- 事業内容： 営業、研究開発、財務
- 商品生産： 当社、Bostik China、Bostik USA

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

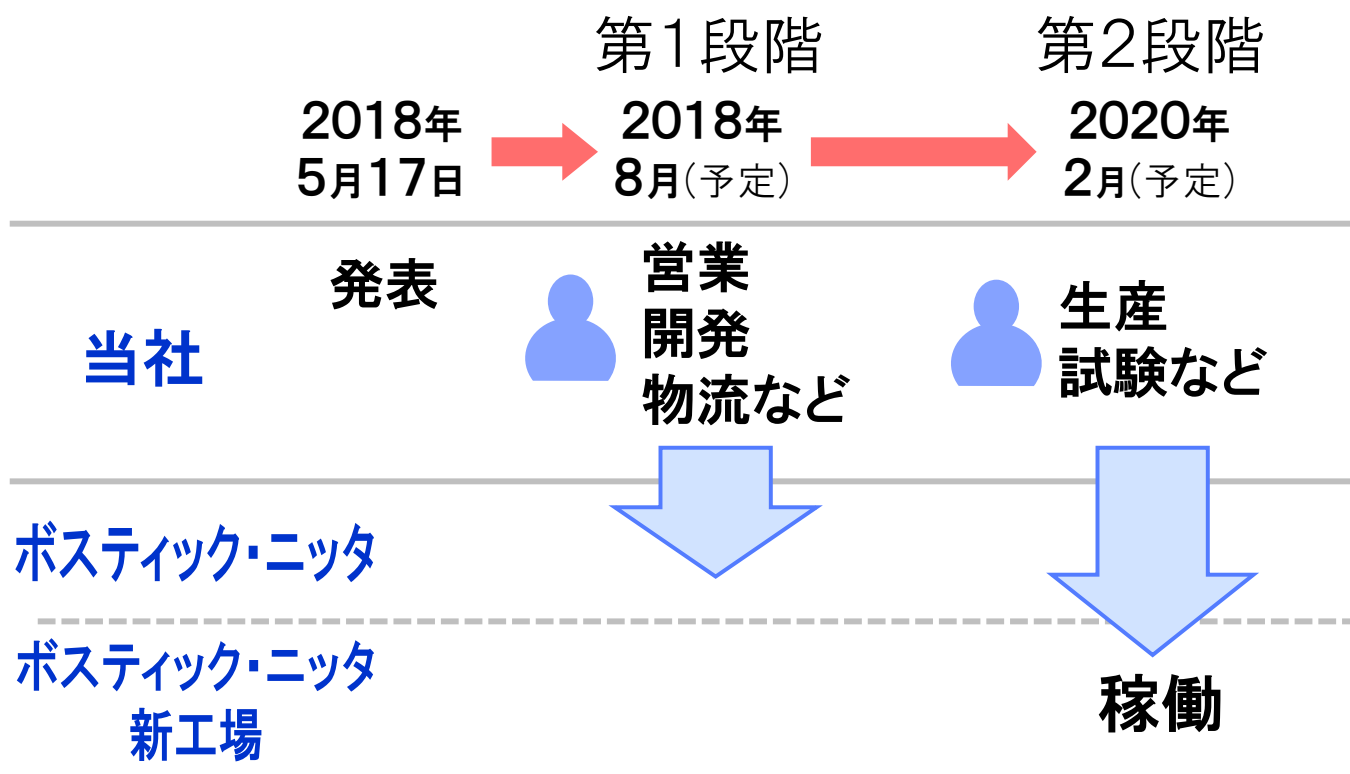
25



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

26

今後のスケジュール



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

27

当社2019年3月期業績への影響

1. ボスティック・ニッタ向け生産・販売
継続 (2020年1月末まで)
2. 事業分割による特別利益の計上

外部環境の認識

- 国内での個食化、調理の時短・簡便化、人手不足
- 外国人観光客の増加
- 健康志向の高まりによる機能性表示食品、健康食品の増加
- 北米での競争環境は更に激化
- アジア新興国の経済成長と所得増加による食品・医薬品市場の拡大

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

29

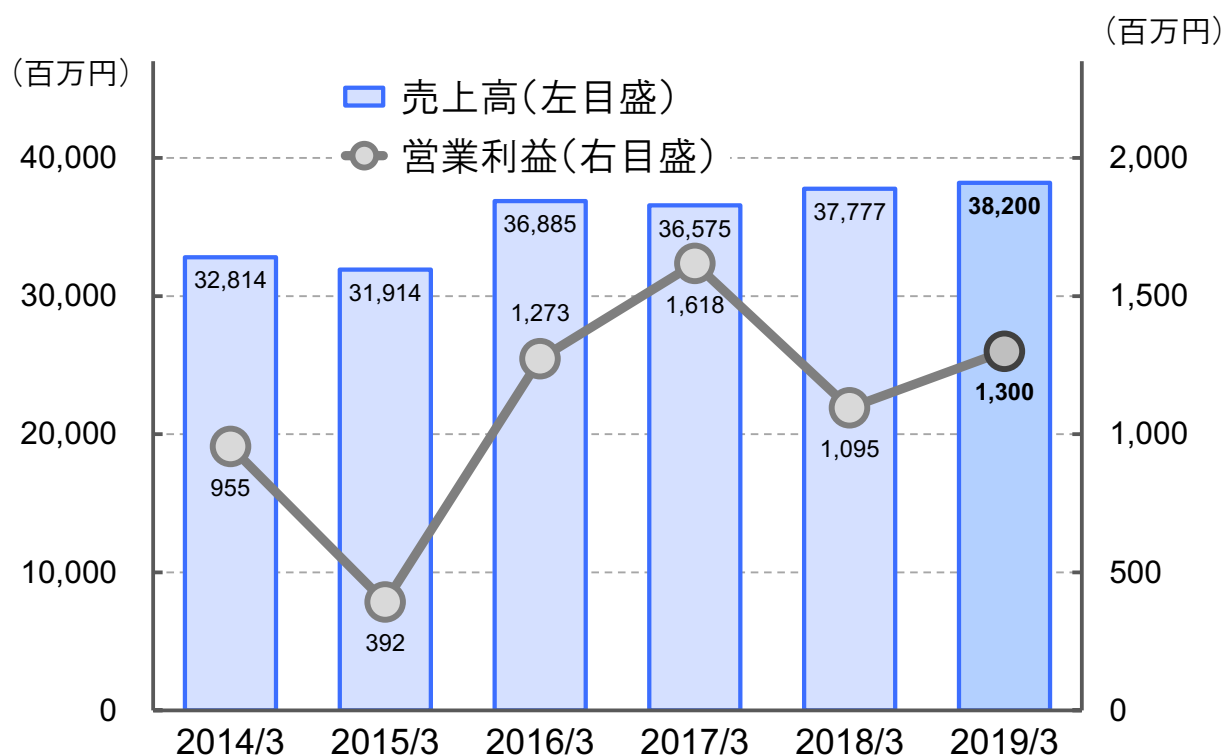
2019年3月期予想

(百万円)		2018/3	2019/3 (計画)	前期比
売上高		37,777	38,200	+1.1%
営業利益		1,095	1,300	+18.7%
	利益率	2.9%	3.4%	—
経常利益		1,009	1,100	+9.0%
	利益率	2.7%	2.9%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		△615	900	—
	利益率	—	2.4%	—

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

30

連結 売上高、営業利益 推移



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

31

セグメント別売上予想

(百万円)	売 上			セグメント利益		
	2018/3 (実績)	2019/3 (予想)	増減	2018/3 (実績)	2019/3 (予想)	増減
コラーゲン素材事業	27,870	28,700	+3.0%	1,483	2,500	+68.5%
フォーミュラソリューション事業	9,907	9,500	△4.1%	1,016	400	△60.6%
(消去又は全社)	—	—	—	△1,404	△1,600	—
合 計	37,777	38,200	+1.1%	1,095	1,300	+18.7%

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

32

設備投資

(百万円)	2017/3 (実績)	2018/3 (実績)	2019/3 (計画)
設備投資額	2,060	1,269	2,600
減価償却費	1,486	1,675	1,700

2019/3 主要な設備投資の概要

- 日本：ぶんせき館建設、付加価値製品の生産
設備導入、省エネ設備導入
- 海外：新規商品の生産設備導入、環境保全対応

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

33

3. 中期経営計画

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

34

「いつまでも元気で若々しくありたい」 そんな世界中の人々の願いを コラーゲンの飽くなき追求により叶えます

1. お客様の「もっと」を叶える製品・サービスを提供します
2. 研究開発と生産革新に努め、コラーゲンの活躍の場を広げます
3. 挑戦を良しとする組織風土を築き、新たな市場を開拓・創造します

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

35

1. フードソリューション、ヘルスサポート、
バイオメディカルの3つをコア領域とする。
2. 日本、アジア、北米の生産体制を
自由貿易時代に対応するべく変革する。
3. 選択と集中を進め、付加価値の高い製品・
サービスを創造し、高収益な会社に生まれ
変わる。

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

36

1. フードソリューション、ヘルスサポート、 バイオメディカルの3つをコア領域とする。

フード ソリューション	「もっと美味しく、簡単に」を実現するために、ゼラチンやゲル化剤等を活用した用途開発と、独自の製品開発や配合技術によって、お客様の課題解決に繋がるソリューションを提供します。
ヘルス サポート	世界中の人々の願いである健康に対し、長年にわたるコラーゲンペプチドの機能性研究と商品開発力で若さや美しさを保ちたいというニーズにお応えします。
バイオ メディカル	革新的な医療技術への挑戦が続く先端医療分野において、生体内に用いても安全なコラーゲン・ゼラチンを医療分野に展開し、再生医療や生体材料の製造に貢献します。

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

37

2. 日本、アジア、北米の生産体制を 自由貿易時代に対応するべく変革する。

日 本	コストダウンと生産効率化
アジア	ベトナム、中国での生産拠点の拡大
北 米	ゼラチン・コラーゲンペプチドの安定生産

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

38

3. 選択と集中を進め、付加価値の高い製品・サービスを創造し、高収益な会社生まれ変わる。

選択と集中	接着剤事業は、ボスティック・ニッタ社へ会社分割
付加価値の高い製品・サービス	消費者や、業務用ニーズにマッチした製品づくり
高収益	営業利益率8%を目指して、販売商品のポートフォリオを変革する

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

39

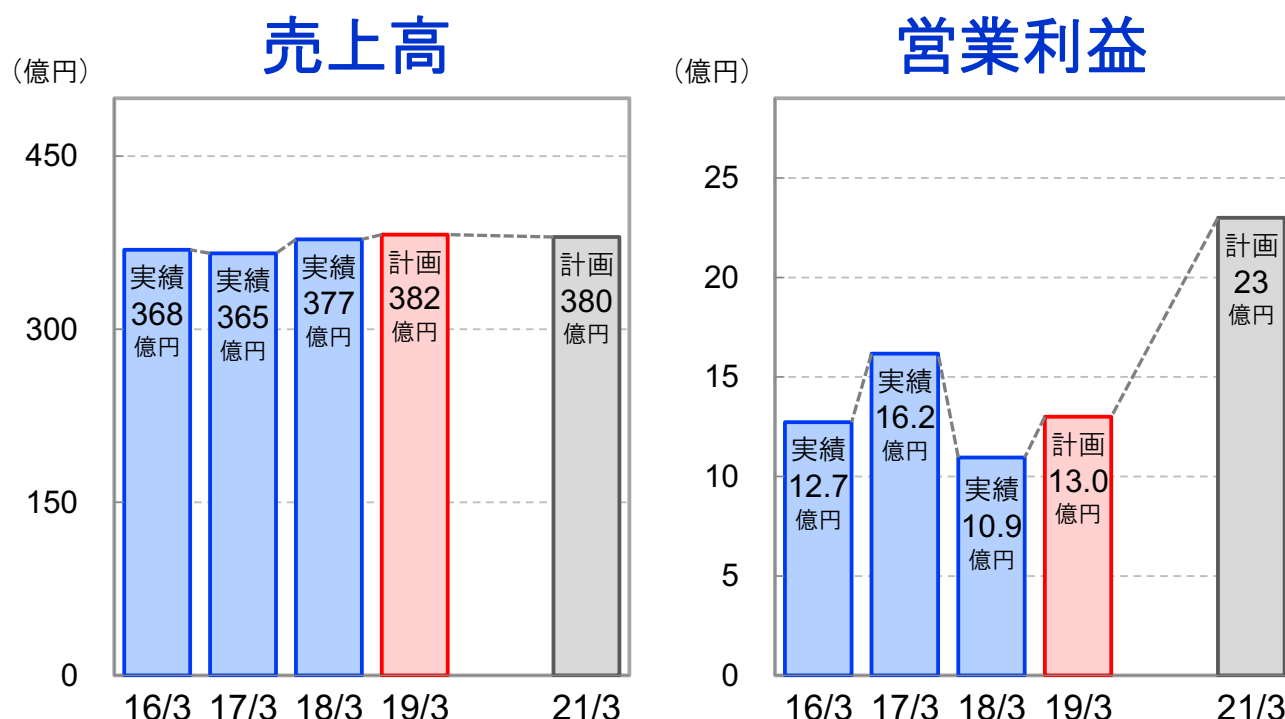
連結業績目標

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 (計画)	2021年 3月期 (計画)
売上高	37,777	38,200	38,000
営業利益	1,095	1,300	2,300
同率	2.9	3.4	6.1

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

40

中期経営計画との比較



グループ会社(国内)決算報告会 (2018.5)

41

今後の戦略課題

コア領域	事業エリア	事業戦略
フードソリューション	日本	・冷凍総菜／デザート、チルド総菜用商品の開発と拡販 ・業務用商品の開発と拡販
	アジア ベトナム	・アジア地域のビジネス拠点とする為、現地顧客への拡販推進
ヘルスサポート	日本	・アンチエイジングに注力する ・コラーゲンペプチドの機能性を更に追求する
	アジア 中国	・コラーゲンペプチド需要の拡大に対する増産対応とビジネス拡大
バイオメディカル	北米	・beMatrixゼラチンの販売拡大 ・創傷治癒向け商品開発

わくわく! コラーゲンカンパニー

What

一意専心“コラーゲン企業”
コラーゲンにこだわる・極める
(食品、健康、美容、医療)

Where

世界3極集中
世界3拠点[日本、北米、アジア
(インド)]を最大限に活かす

Who

QOL向上に関心のある顧客
課題先進国日本
⇒アジア中間層へ展開

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

43

4. トピックス



Connect and Create

2018年：創業100年

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

45

4 トピックス

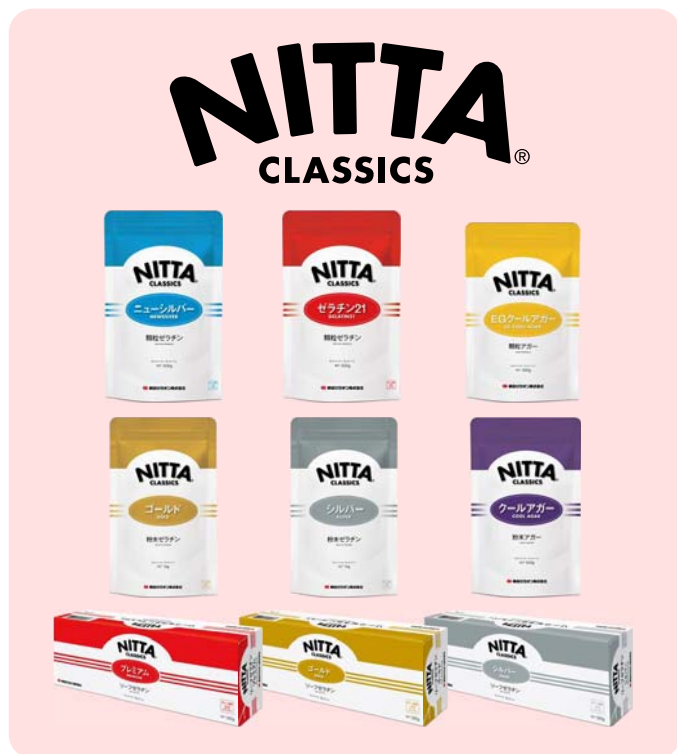
ホームページを
リニューアル

- 2018年4月18日
創業記念日に公開



46

業務用製品パッケージリニューアル (4月より)



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

47

英科学誌『nature』に当社記事が掲載 (2017年12月21号)

[insideview]

EXPANDING THE HORIZONS FOR COLLAGEN-BASED BIOMEDICAL MATERIALS

A conversation with **YOSUKE HIRAKA**, principal research scientist at Nitta Gelatin Inc., Japan

Nitta Gelatin Inc. provides world-class collagen, gelatin and collagen peptide products derived from bovine, porcine and fish sources that are widely used in the pharmaceutical, cosmetics, adhesives and food industries. The company's portfolio began with glues for musical instruments and gelatin for photographic film. It has since evolved to meet changing demands over many decades, today supplying an innovative line-up of materials for biomedical use.

What impact are medical advances having on the development of biomaterials?

During the past decade there have been major advances in stem cell research, regenerative medicine and transplantation. Cell therapy and gene therapy products are evolving at a corresponding pace. New techniques to combine cells with gelatin or collagen are emerging and are already making these new treatment methods more effective. We recognize that safety is a top priority, particularly at the raw material stage, because it's difficult to remove endotoxins or conduct further purification after the biomaterials have been combined. We developed a unique method to reduce endotoxin levels. Our product called beMatrix™ low endotoxin gelatin is of very high quality and has less than 10 endotoxin units (EU) per gram. The US Food and Drug Administration (FDA) guideline requires endotoxin levels at no more than 20 EU per medical device, so this is a remarkable achievement.

Can you tell us more about the development of beMatrix™?

beMatrix™ was made possible through Nitta Gelatin's investment in a state-of-the-art cleanroom facility in 2009 and produced this specific product in response to requests from customers. Planning clinical trials was the next step and therefore reducing endotoxin levels was critical for this type of research because this system is being introduced into the human body in clinical applications. As we knew that dry heat sterilization, autoclaving and filtration methods could not be applied to gelatin and collagen, we developed a new method for endotoxin reduction. Since its development, beMatrix™ has been used by researchers and companies around the world. First, researchers use our materials in animal studies, and get good results. Next they want to use it in clinical studies, and request from us products that are safe for this purpose. We come up with what they need for their clinical study, and after it's done, they produce papers. Other researchers read these papers and also want to directly benefit from our products. This is the story of how we developed and released beMatrix products. Some of the researchers who contact us are with companies who develop medical devices, biologics and regenerative products, all of which utilize our materials.

What are Nitta Gelatin's key areas of business?

Our main products are collagen, gelatin, and hydrolyzed gelatin. Our key technologies are endotoxin and virus reduction. Collagens are a large family of proteins found within the extracellular matrix (ECM), an important constituent of many of the tissues in the human body and other vertebrates. Gelatin is a heat-denatured product of collagen, and hydrolyzed gelatin (also known as collagen peptide) can be made via enzymatic hydrolysis. Collagens, gelatin and collagen peptides have distinctive characteristics. For example, collagen has a triple helix structure and is an excellent biocompatible material. We supply medical device manufacturers, universities and research institutes with a wide range of collagen products for artificial skin and bone, as well as other regenerative medicine applications. Gelatin is known for its water-binding, film-forming and adhesive properties, and is used in many applications ranging from food and pharmaceuticals to photoresist materials. Collagen peptides are increasingly being used in dietary supplements and health foods, as they can help regulate blood functions and improve skin, bone and joint health.

What sets Nitta Gelatin apart from other collagen and gelatin makers?

Recently there has been a surge in demand for the biomaterials for medical use and we are well positioned to respond to this demand. We provide collagen and gelatin biomaterials that are not only of exceptionally high quality but also control the level of endotoxins, viruses and bacteria. In addition, our collagen and gelatin products are valuable for many other healthcare applications due to their absorbent, protective and conformable properties. They are also suitable for acid gel transition, meaning that they can be made into either a liquid or gel by adjusting the temperature and pH. We offer a unique range of products such as beMatrix™, sterilized gelatin solution and collagen solution for three-dimensional culture, to name a few.

What other innovations are in the pipeline?

Innovators are as a consequence of combining our products with the user's ideas. Our goal is to contribute to global health by combining our materials with various technologies and needs of companies and researchers. We have recently developed new types of gelatin that have a gelling temperature that is significantly higher than that of conventional gelatin. In 1993, Nitta Gelatin began producing gelatin and animal glues. In 2016, as the company celebrates its centenary, we intend to keep evolving as we believe the potential of collagen and gelatin is infinite.

Nitta Gelatin Inc.

Unlocking potential of beMatrix gelatin and collagen

The first in human clinical study based on IPS cells

The first in human clinical study based on IPS cells was conducted in 2014. beMatrix gelatin AT was selected and used for retinal pigment epithelial sheet.

Masayo Takahashi, M.D., Ph.D.
RIKEN Center For Developmental Biology

Gelatin is a material indispensable and promising for drug delivery system

More than 1,000 patients of intractable diseases were efficiently treated to heal with the gelatin DDS technology of growth factor release.

Yasuhiro Tabata, Ph.D., D.Med.Sci., D.Pharm.
Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

"Low endotoxin level" of beMatrix gelatin was key!

beMatrix gelatin is used in Solum IV, a resorbable bone void filler, which is an osteoconductive implant serving as a scaffold for the in-growth of new bone. Solum IV forms a cohesive and adhesive consistency upon hydration allowing the shape of the implant to conform to the defect.

Kevin Dunworth, CEO & Founder
Celling Biosciences

beMatrix

Nitta Gelatin Inc. www.nitta-gelatin.co.jp/english/

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

48

ぶんせき館竣工（2018年6月）



試験室[1942年(昭和17年)竣工]



2018年5月15日現在

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

49

第3回 ライフサイエンスバイオマテリアル研究会 開催

2018年11月2日 [ホテルグランヴィア京都]

医療用コラーゲン・ゼラチンを使った研究成果発表で
社会貢献できる医療材料を生み出すきっかけづくり



2017年10月開催の
研究会風景

2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

50

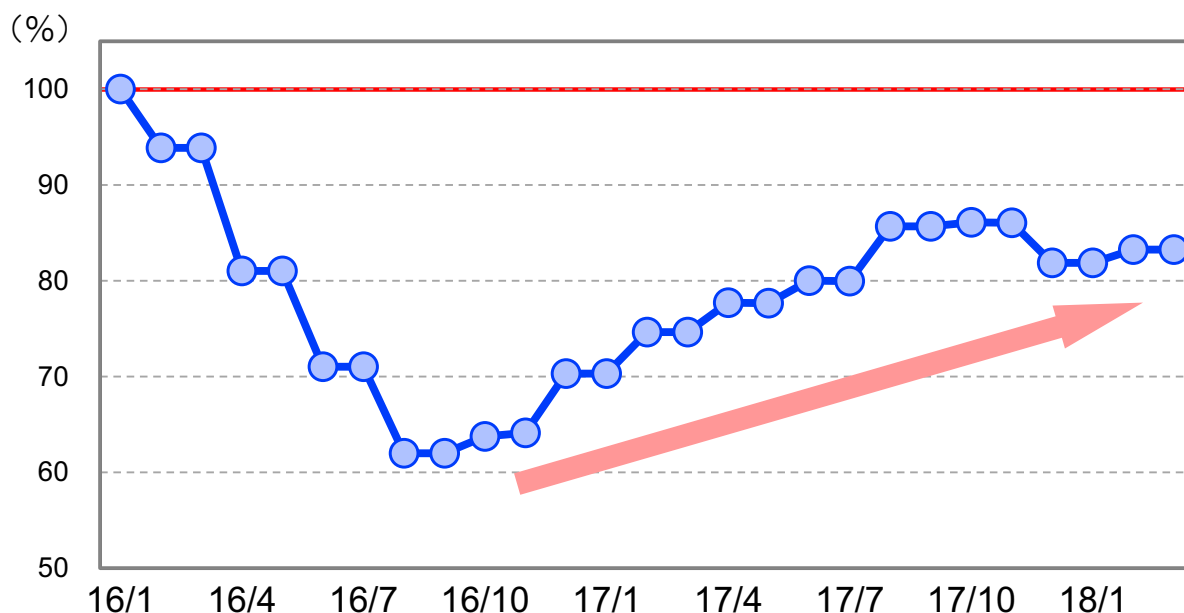
ご清聴ありがとうございました



新田ゼラチン株式会社

外部環境の認識

当社購入ガス単価推移

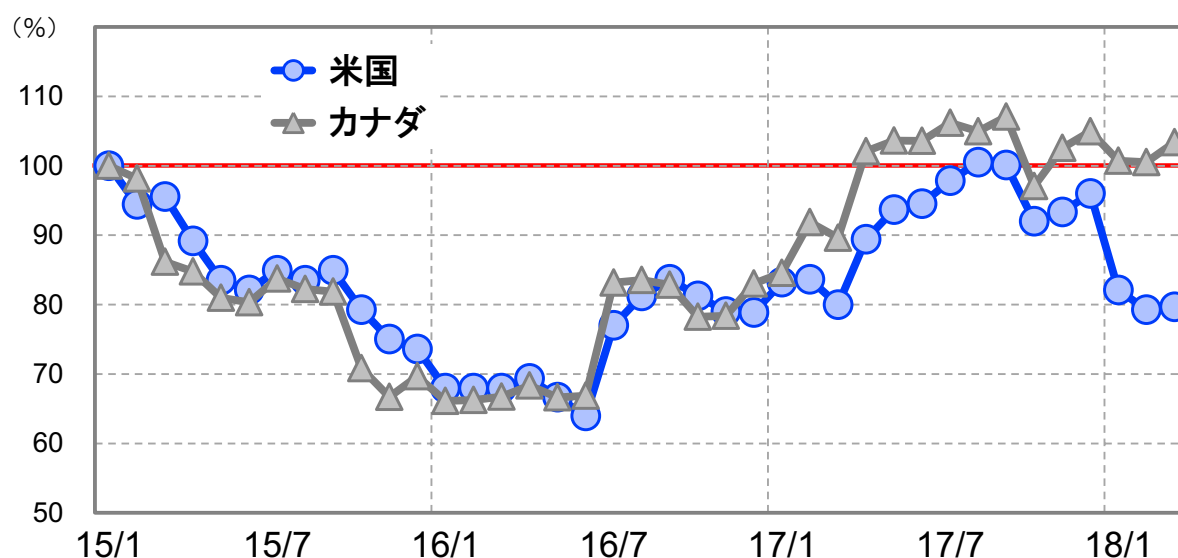


2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

53

外部環境の認識

北米豚皮原料価格推移

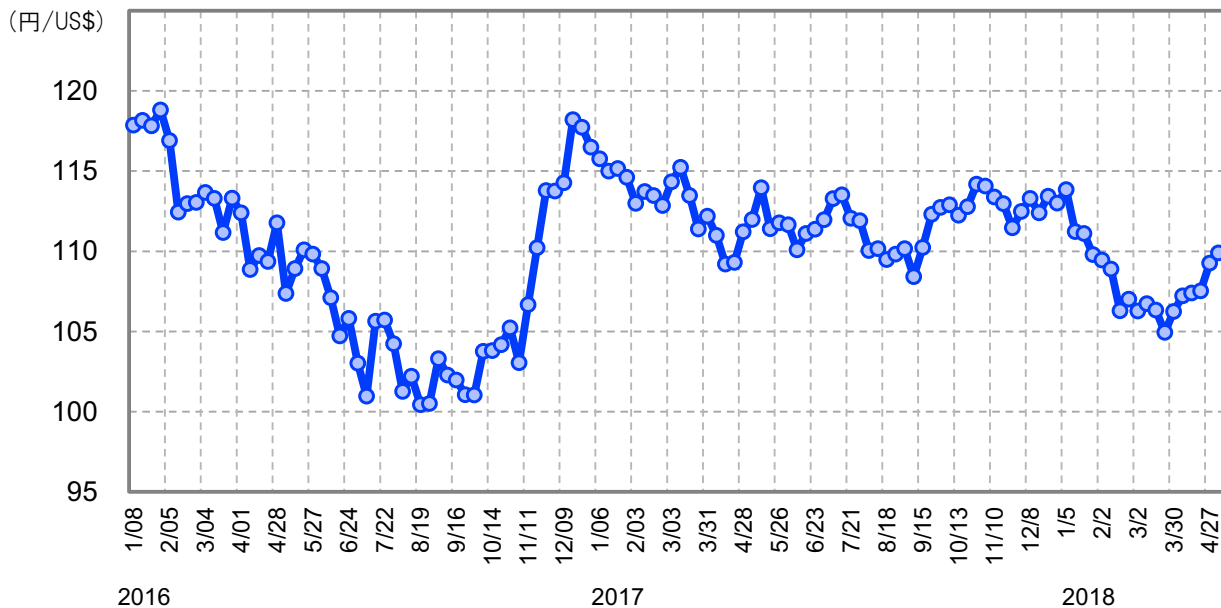


2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

54

外部環境の認識

外国為替推移 (週末TTMLレート)



2018年3月期 決算説明会資料 (2018.5.23)

55

今後の計画

Bostik, Inc. (ボスティック・ニッタの親会社)

- 1889年創業、2001年Ato Findleyと合併(Bostik Findley)
- 2004年Bostikに、その後2015年ArkemaがBostikを買収
- 世界40カ国に5,000名の社員が従事、売上高2,000億円

Arkema S.A. (Bostikの親会社)

- 売上高1兆円、50カ国、140拠点、19,000名の化学系企業

国内外売上比率

